

## 舞鶴ふるさと発見館（舞鶴市郷土資料館）だより

令和3年8月

新型コロナウイルス感染予防対策として消毒・マスク着用・ソーシャルディスタンスにご協力ください。また、体温計測、来館者名簿への記名をお願いしています。皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

☆舞鶴ふるさと発見館の夏休み特別企画「舞鶴の“宝物”を探ろう！！」

・8月1日～22日の土日（1・7・8・14・15・21・22日）

特別企画1 クイズラリーに参加して缶バッジをもらおう！10:00～16:00

（田辺城資料館でも同時開催）

特別企画2 舞鶴の宝物発見おはなし会 10:00～10:30

【1日（日）】舞鶴のお祭り 【7日（土）】古代の土器 【8日（日）】浦島太郎

【14日（土）】古代の石器 【15日（日）】むかしの船 【21日（土）】古代の銅鐸

【22日（日）】城の話

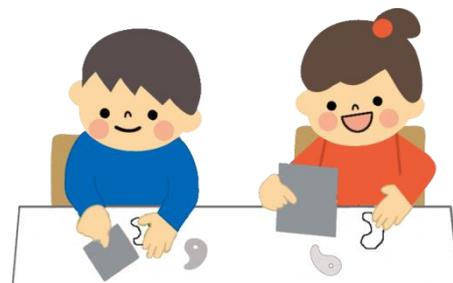
特別企画3 自由研究なんでも相談 10:00～16:00

・8月12日（木）10:00～12:00、13:30～15:30

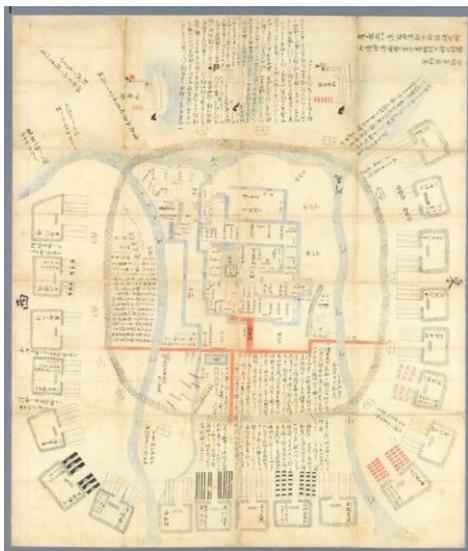
特別企画4 古代のアクセサリーまが玉を作ってみよう！

要申込（受付は8月1日（日）から）

各回先着10人、参加費300円



☆展示室には舞鶴の宝物がいっぱいあるよ！



田辺籠城図 全国に10枚しかないうちの1枚です。



縄文丸木舟と一緒に出土した隠岐の黒曜石と富山の蛇紋岩



まが玉とミニチュアの鏡

☆糸井文庫コーナー



今月の糸井文庫は「竜宮城へ～乙姫との出会い」がテーマです。糸井文庫は丹後関連の資料 2000 点余のコレクションです。その中でも、丹後関連の伝説などをテーマにした浮世絵が約 200 あります。ふるさと発見館ではこれらの浮世絵を月替わりで展示しています。左の浮世絵は勝川春郎のもので、映画にもなりましたのでご存じの方も多いと思いますが、勝川春郎は若い頃の葛飾北斎です。北斎は勝川派で学ぶだけでなく、大和絵なども貪欲に学んだことで知られています。この絵は「浮絵」といわれた西洋の遠近法を取り入れた描き方です。新しい物をどんどん取り入れた浮世絵師の代表格です。

☆今月の一品「巨大カキの化石」

これは、1500 万年前（新世代第 3 紀）の化石です。化石が採集されたのは内浦層群と呼ばれる大浦半島の地層です。巨大カキは、河口や入江の汽水（海水と淡水が混じたところ）に群れになって生息していました。大きなものは殻の長さが 60cm にもなりましたが、今は絶滅してしまいました。この化石は、長さ 17cm で、2～3 年目の巨大カキの子どもです。1966 年 8 月に採集され、今回ふるさと発見館に寄贈して頂きました。



← 17cm →

お問い合わせは

舞鶴ふるさと発見館（舞鶴市郷土資料館）

TEL：0773-75-8836

（受付時間 9：00～16：30）

FAX：0773-77-1314

住所：舞鶴市字南田辺 1 番地

（ゆうさい会館（西総合会館）1F 北側）

展示室入場料：大人 100 円、  
市外学生 50 円

サロンスペース：無料

休館日：8月2（月）・10（火）・11（水）・  
16（月）・23（月）・30（月）

